

## 鳴子ダムにおける今夏の渇水対応状況について

今夏の降雨状況は、東北地方以西あるいは新潟県、福島県で大雨となったところが見受けられましたが、東北地方全体として見ると降雨は大変少ない状況でした。

鳴子ダム流域におきましても、今年は例年に比べ、非常に降雨が少ない状況となっており、鳴子ダムの水を利用している江合川流域においても、渇水となりました。

鳴子ダムでは、ダムから取水し発電を行っている東北電力(株)の、震災による電力不足に対する増電への協力と江合川流域のかんがい用水に対する渇水対策を同時に行うこととなりました。

今夏（6月～8月）の鳴子ダム流域における雨量、ダム貯水池の状況写真、流入量（ダム貯水池に入ってくる水の量）及び放流量※1（ダム貯水池に貯まった水をダム下流の河川へ流す水の量）を、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

※1 通常、ダムの放流設備からは水を出しておりませんが、かんがい用水及び発電用水が江合川へ流されていることから、ダムの放流設備から流す場合の水の量、かんがい用水量及び発電用水量を合わせて「ダム放流量」（ダム貯水池に貯まった水をダム下流の河川へ流す水の量）としております。



8月25日のダム貯水池の状況

鳴子ダムホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/> にも掲載します。

<※発表記者會 古川記者クラブ>

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所

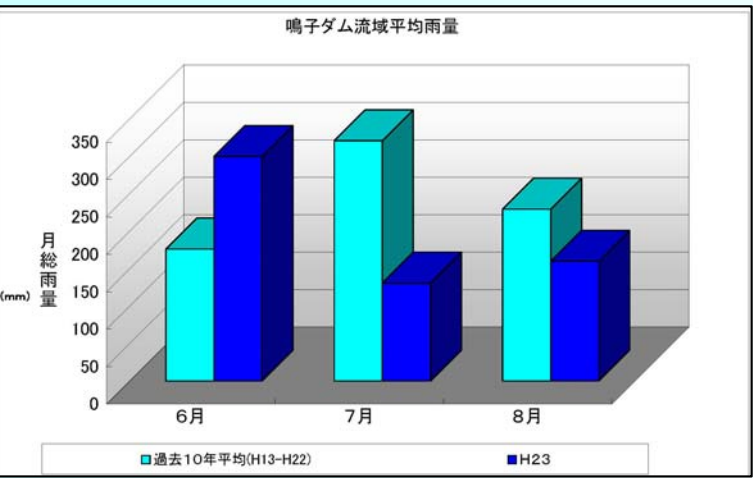
所 長 柏谷 稔

管理係長 木村 康文

TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

# 鳴子ダム渇水対応

- ☆ 北上川水系江合川では極端な少雨による渇水から、鳴子ダムの利用容量を活用して、50日間（7/1～8/19）の用水補給を行った。
- ☆ 7月の降雨量は、過去10ヶ年平均の40%程度しか無く、また、8月は稲の出穂期のため多くの水を必要とすることから、長期に渡りダムからの補給を継続することとなった。



平成23年8月19日  
国土交通省東北地方整備局  
北上川下流河川事務所  
鳴瀬川総合開発調査事務所  
鳴子ダム管理所

**北上川水系(下流)  
鳴瀬川水系 渇水対策支部の体制解除について**  
◆◆◆渇水対策支部の注意体制を解除しました。◆◆◆

北上川下流河川事務所・鳴瀬川総合開発調査事務所・鳴子ダム管理所では、管内各河川の流況の悪化による各利水者への影響が懸念されることから、8月11日に北上川水系(下流)・鳴瀬川水系渇水対策支部(注意体制)を設置しておりましたが、各河川の流況が概ね回復し、気象庁発表の一週間予報においては、曇り雨の日が多く今後の降雨が期待できること、並びに出穂水の取水が概ね終了し、取水障害等がないことから、本日14時に体制を解除しました。

